

第 32 回練馬区新人演奏会出演者インタビュー

【金管楽器部門優秀賞】 伊藤雄太(いとうゆうた)さん



今年の5月27日、6月24日に行われた第32回練馬区新人演奏会出演者選考オーディションで金管楽器部門優秀賞を受賞した伊藤雄太さんにトロンボーンとの出会いから練馬区新人演奏会への思いをお聞きしました。伊藤さんは現在、昭和音楽大学専攻科に在学中です。

—トロンボーンとの出会いは？

中学校の吹奏楽部から始めました。スライドが他の楽器にはなくてカッコいいなと思い、決めました。高校でも吹奏楽部に所属しました。高校の吹奏楽部の先生が洗足学園音楽大学のトロンボーン専攻の方で、トロンボーン的基础を教えてくださいました。また、高校時代は、いろいろな大学のオープンキャンパスのレッスンを受れたり、本格的に先生のレッスンを受け始めました。

—トロンボーンの魅力ってどんなところですか？

力強い音やわらかい音、他の楽器に比べて幅広い音色が出せるところです。音にとっても魅かれます。

—第32回練馬区新人演奏会出演者選考オーディションを受けるきっかけは？

指導いただいている先生から紹介いただき、東京フィルハーモニー交響楽団と一緒に演奏できるのがとても魅力的だったので、受けることを決めました。

—オーケストラと一緒に演奏するのは初めてですか？

学校でコンチェルトを1度演奏したことがあり、今回で2回目です。プロのオーケストラと一緒に演奏するのは初めてなので、緊張します。

ーオーディションに参加された感想は？

すごく緊張していましたが、運営の方々がやさしくて、のびのび演奏することができました。失敗もありましたが、やり切ったなという感じはありました。

ー第 32 回新人演奏会の演奏曲にグレンダール「トロンボーン協奏曲」を選ばれた理由を教えてください。

この曲は、高校生の時、トロンボーンのレッスンで初めて練習した曲です。また、初めて楽譜を買った思い出深い曲で、いつか自分で演奏したいと思っていました。東京フィルハーモニー交響楽団と一緒にできるなら、この機会に演奏しようと思い、選びました。

ートロンボーン協奏曲の楽譜を買ったのはいつ頃でしたか。

中学 3 年生です。

ーその頃からトロンボーン奏者になりたいと思っていましたか？

高校 1 年生の時からです。そこから、音楽大学のオープンキャンパスに行くようになりました。

ーこの曲の聴きどころはどんなところですか？

この曲はトロンボーンの魅力がつまっていて、力強い音からやわらかい音まで使われていて、曲想がとてもドラマティックで、初めての方でも楽しめるところだと思います。

ーオーディションで優秀賞を受賞して新人演奏会に出演が決まった際に、喜んでくれた人はいますか？

一番、喜んでくれたのは両親です。音楽の道をサポートしてくれています。「東京フィルハーモニー交響楽団とコンチェルトができるなんて…」とすごく喜んでいました。音大に行くことにも理解があったので、両親にはとても感謝しています。

ー今回の新人演奏会は練馬区内在住、在学の小中学生と保護者を抽選でご招待しています。小中学生へ見どころをご紹介いただけますか？

小中学生の中には、トロンボーンを知らない人もいます。そういう方々も含めてトロンボーンの演奏だけでなく、スライドとか視覚的に楽しんでもらえればと思っています。

—演奏会が終わった後、自分にご褒美をあげるとしたら、どんなご褒美ですか？

甘いものを食べたいです。

—好きな演奏家または好きな曲等を教えてください。

カナディアン・ブラスが好きで、その中でもアキレス・リアルマコプーロスさんが特に好きです。

—どんな演奏家になりたいですか？

僕の演奏を聴いて、幸せになったり、感動したり…そういう心を動かせる演奏家になりたいです。

—今回練馬区の新人演奏会ということで、「練馬」と聞いて思い浮べるものを教えてください。

練馬文化センターです。中学生の頃、演奏会で2～3回来たことがあります。今回のオーディションに来たとき、懐かしいなと思いました。あと、「練馬」と言えば、武蔵野音楽大学です。

—では最後に、今回のインタビューをご覧になった方へのメッセージをお願いします。

トロンボーンの魅力たっぷりのグレンダールの曲を説得力ある音楽でお届けします。ぜひ、お越しください。

<インタビューを終えて>

トロンボーンの音色に魅了され、それを多くの方に届けていきたいという思いがあふれるインタビューでした。このインタビューは、指揮者合わせが終わった後のお疲れのところで行いましたが、穏やかな明るい雰囲気、とても気さくにお話ししてくださいました。